

第3章 調査と分析方法

3-1 調査と分析の流れ

本研究の調査では、ちんどん屋の経路や行動を調査するために著者がちんどん屋の街廻りを追い、ちんどん屋と観客の様子をビデオで記録した。

本研究の分析では、

- ・ビデオを元に街廻りでの出来事を 1/2500 地形図に描く。その地図を『ちんどんデータマップ』とする。
- ・『ちんどんデータマップ』からちんどん屋と観客とのコミュニケーションを抜き出し、モデル図で示す。
- ・モデル図を類型化し、5 類型（『ちんどんコミュニケーション類型』）を得る。
- ・街ごとに『ちんどんコミュニケーション類型』を集計し、街廻りを比較する。

図 3-1 は分析のフロー図であり、図中の太字数字は、本論文の章番号と対応させている。

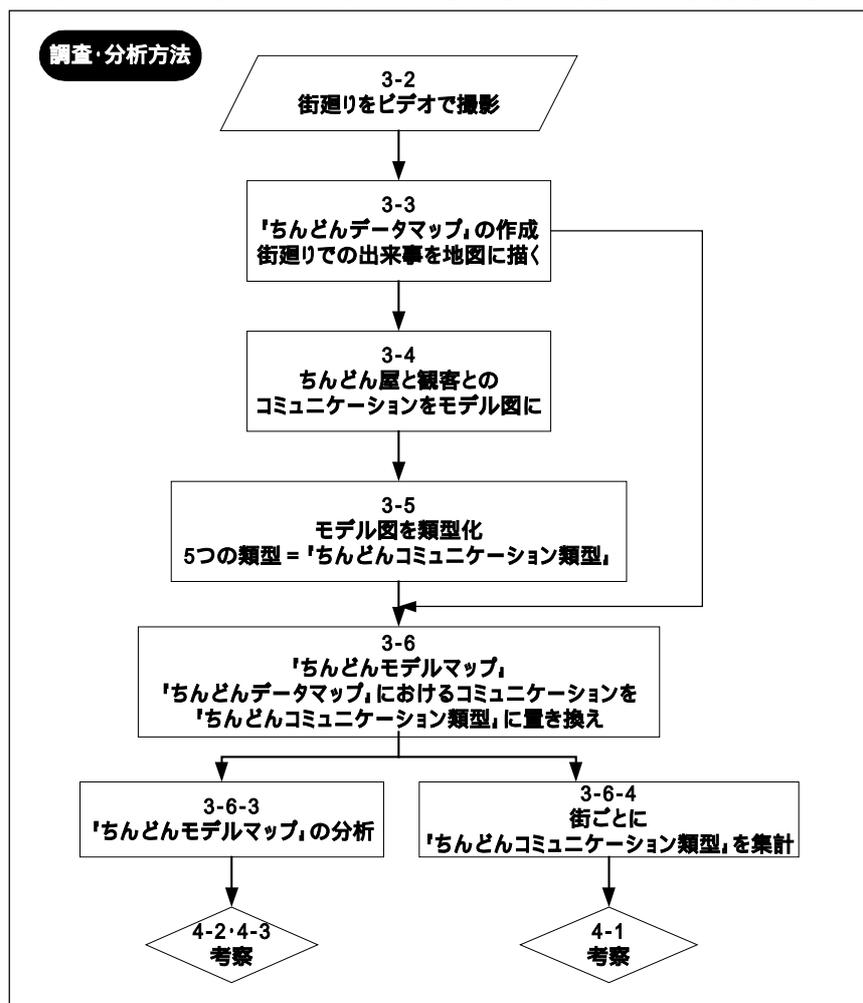


図 3-1 調査と分析の流れ

3-1 調査の方法と概要

3-2-1 ビデオ撮影による記録方法

初めに、ちんどん屋の街廻りを記録する。著者がちんどん屋の街廻りを追跡調査し、ちんどん屋と観客をビデオで撮影する。ちんどん屋と観客とのコミュニケーションと同時に、街や人々の様子も撮影する。著者が小型カメラを頭に取り付け、視野を撮影する。ちんどん屋の休憩中は撮影していない。なお、バッテリーやテープの交換のため、画像が途切れている部分があるが、それは考慮しないこととした。

3-2-2 調査対象街廻り概要

2003年5月3日～7月25日の間、計12回の調査を行った。調査対象は「東西屋」の街廻りである。街廻りの中には、商店街内を歩くだけというようなものがあるが、それは対象にしていない。ちんどん屋が街の中をある程度の距離を歩き、宣伝する街廻りを対象にしている。

表3-1に調査対象とした街廻りの概要を示す。～の番号は、12回の街廻りにおいて、日付順につけたものである。

図3-2に大阪市の地図を示す。調査対象地を、地図上で～の番号で表す。

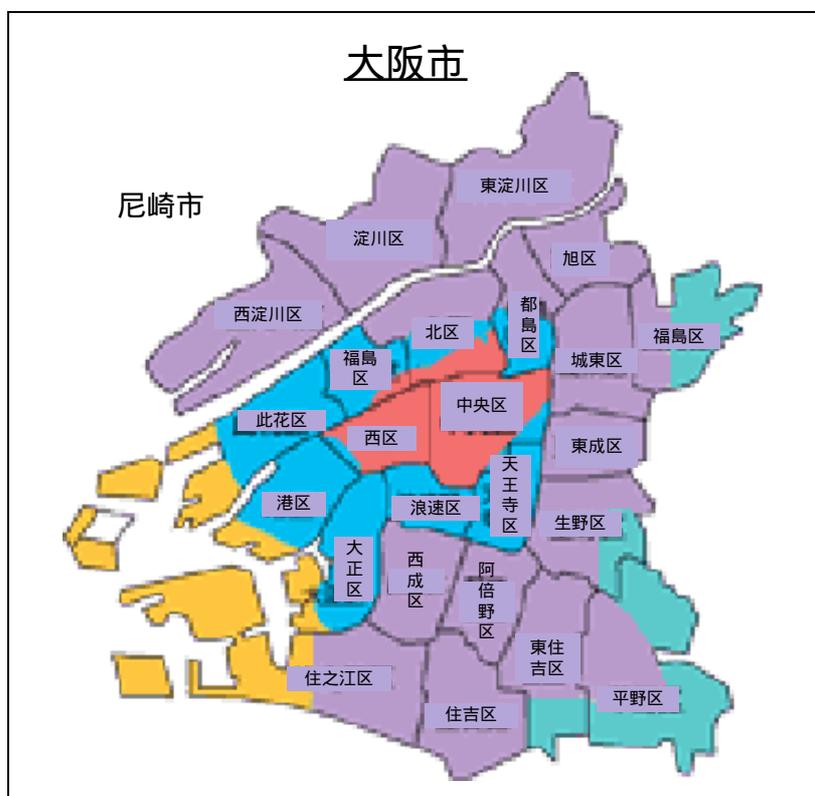


図3-2 調査対象地

表 3-1 調査対象街廻り概要

日	場所	時間	依頼店	宣伝内容	天気	街
030503	大阪市西成区 新世界	11-15 (街廻りは 17時まで)	夢 YUKO ' S SHOP	釣鐘饅頭屋 リニューアル	晴れ	繁華街
030510	大阪市淀川区 塚本	11-14	せんたく館	大型コインランドリー 開店	晴れ	住宅街
030606	大阪市淀川区 十三	15-19	花太郎	ビデオ試写室開店	曇り	繁華街 商店街
030607	尼崎市 園田	10-16	ドコモショップ 園田店	サマーキャンペーン	晴れ	住宅街
030611	大阪市中央区 上本町	15-18	妙徳寺	イベント告知 (鐘つき子供会)	晴れ	住宅街
030619	大阪市中央区 難波	16-20	がんこ 魚菜や本舗	居酒屋 リニューアル	曇り 時々雨	繁華街
030620	大阪市中央区 難波	16-20	がんこ 魚菜や本舗	居酒屋 リニューアル	晴れ	繁華街
030627	大阪市北区 梅田 (お初天神通り)	16-19	美食工房 筏	居酒屋開店	雨	繁華街
030703	大阪市住吉区 我孫子	12-17	プラザあびこ	ショッピングビル宣伝	雨	住宅街
030711	大阪市東住吉区 杭全	11-14	BONGO・BONGO	居酒屋開店前宣伝	晴れ	住宅街
030719	大阪市中央区 道頓堀	14-17	HOTEL パンピローナ	ラブホテル宣伝	晴れ	繁華街
030725	大阪市中央区 道頓堀	15-18	HOTEL パンピローナ	ラブホテル宣伝	晴れ	繁華街

～ の街廻りについて、簡単に説明する。

(1)「 新世界街廻り」

通天閣前にある土産物屋の宣伝である。ちんどん屋の写真を撮る観光客が多い。街廻りは11時～17時までであったが、調査は15時までに行った。

街廻りの様子を写真3-1に示す。ちんどん屋が依頼店の前で演奏し、その場で円を描いて回っている様子である。



写真 3-1 新世界街廻りの様子

(0503 新世界街廻りにおいて著者がビデオ撮影)

(2)「 塚本街廻り」

大型コインランドリーの宣伝である。住宅から覗く観客が多かった。依頼店の人が4～5人ちんどん屋と共にチラシを配り、街廻りの経路を決めた。

街廻りの様子を写真3-2に示す。公園で子供がちんどん屋について行く時の写真である。



写真 3-2 塚本街廻りの様子

(0510 塚本街廻りにおいて著者がビデオ撮影)

(3)「 十三街廻り」

ビデオ試写室の宣伝である。店の人が2～3人、ちんどん屋と共にティッシュを配る。男性をターゲットに配る。依頼店の人が、カエルや犬の着ぐるみを着ている(写真3-3)。その格好は、子供や学生の目を惹いた。十三には、商店、住宅、風俗店、飲み屋などがある。

街廻りの様子を写真3-3に示す。商店街の中を、ちんどん屋と扮装した依頼店の人が歩く。子供に手を振るカエル(着ぐるみ)の写真である。



写真 3-3 十三街廻りの様子

(0606 十三街廻りにおいて著者がビデオ撮影)

(4)「 園田街廻り」

ドコモショップの宣伝である。住宅から覗く人が多い。ターゲットは老若男女を問わない。

街廻りの様子を写真 3-4 に示す。マンションの前でちんどん屋と親子が会話をしている。



写真 3-4 園田街廻りの様子

(0607 園田街廻りにおいて著者がビデオ撮影)

(5)「 上本町街廻り」

妙徳寺の子供を対象としたイベントの宣伝である。子供が多かった。妙徳寺のお坊さんが 4~5 人チラシを配る。東西屋と妙徳寺は上本町にあるため、ちんどん屋は公園や学校の場所をよくわかってきた。

街廻りの様子を写真 3-5 に示す。ちんどん屋に子供が集まってくる写真である。



写真 3-5 上本町街廻りの様子

(0611 上本町街廻りにおいて著者がビデオ撮影)

(6)「 難波街廻り」

居酒屋の宣伝である。繁華街であり、人が多い(写真 3-6 参照)。この街廻りは、6 月 18 日~20 日の 3 日間連続で行われた。依頼店の人が 2~3 人チラシを配る。3 日間ともちんどん屋についてきた男性がいた(写真 3-7 参照)。

写真 3-6 に 6 月 20 日難波街廻りの様子を示す。繁華街の人込みの中をちんどん屋が歩く写真である。写真 3-7 に 6 月 19 日難波街廻りの様子を示す。自転車に乗ってちんどん屋について行く男性の写真である。



写真 3-6 0620 難波街廻りの様子
(0620 難波街廻りに関して著者がビデオ撮影)



写真 3-7 0619 難波街廻りの様子
(0619 難波街廻りに関して著者がビデオ撮影)

(7)「 お初天神街廻り」

居酒屋の宣伝である。この日は雨が降ったり、止んだりしている。観客は傘を持っているため、チラシを受け取りにくい。歩行者より、繁華街の店員がチラシを受け取ることが多かった(写真 3-8 参照)。アーケードの下を歩くことが多い。

街廻りの様子を写真 3-8 に示す。繁華街の店員がチラシを撮りに行く写真である。



写真 3-8 お初天神街廻りの様子
(0627 お初天神街廻りに関して著者がビデオ撮影)

(8)「あびこ街廻り」

複数の店が集まるショッピングビルの宣伝である。商店から覗く人が多い(写真3-9参照)。この日は雨が降っていた。ちんどん屋は、身体に傘を取り付けて歩いた。雨が上がった隙に、遠くまで歩いた。

街廻りの様子を写真3-9に示す。商店から見ている観客にチラシを渡すちんどん屋の写真である。



写真3-9 あびこ街廻りの様子

(0703 あびこ街廻りにおいて著者がビデオ撮影)

(9)「東住吉区街廻り」

居酒屋の宣伝である。住宅から覗く人が多い。この日は、とても暑くそれが原因かどうかわからないが、ビデオの調子が悪く後の方の撮影ができなかった。ちんどん屋はクライアントから経路を描いた地図をもらいそれに従って歩いた。

街廻りの様子を写真3-10に示す。宅配バイクに乗った人がちんどん屋に声をかける写真である。



写真3-10 東住吉区街廻りの様子

(0710 東住吉区において著者がビデオ撮影)

(10)「道頓堀街廻り」

ラブホテルの宣伝である。 は人が多かった。 はより人が少なかった。 は警官が多い。チラシを捨てる観客がいた。 は都合により初めの方の撮影ができなかった。

街廻りの様子を写真3-11に示す。交差点で口上を述べチラシを配るちんどん屋の写真である。



写真3-11 道頓堀街廻りの様子

(0725 街廻りにおいて著者がビデオ撮影)

3-3 『ちんどんデータマップ』の作成方法

3-3-1 『ちんどんデータマップ』とは

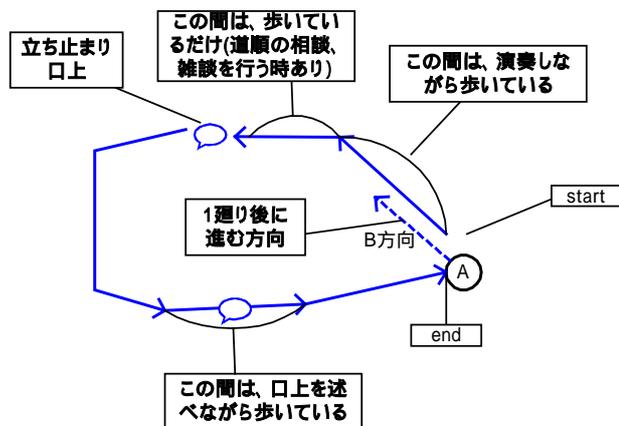
ちんどん屋の経路や行動を見るために、撮影したビデオを元に、街廻りでの出来事を1/2500 地形図に描く。地形図に描く内容は、街廻りでの出来事（ちんどん屋と観客とのコミュニケーション、ちんどん屋の行動、演奏曲等）である。それらを描いた地図を、『ちんどんデータマップ』とする。

3-3-2 『ちんどんデータマップ』の描き方

街廻りでの出来事を地図に1廻りずつ描いていく。

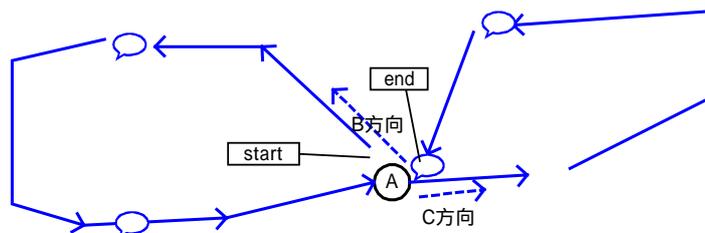
ちんどん屋がある地点 A を B の方向に進み、また A 地点に戻るまでを1廻りとする（図3-3：1廻り後は再びB方向に進む時）。

また、A 地点を B の方向に進み、再び A 地点に戻り、C 方向に進み、再び A 地点に戻るまでを、1廻りとする（図3-4：1廻り後は、再びB方向あるいはC方向に進む時）。街廻りでの出来事が重なって、見にくい時は、A 地点を出発し、再び A 地点に戻るまでを1廻りとする。1廻りの始点の記号は黒色で示す。始点は「start」、終点は「end」で示す。1本の矢印つき線の長さは、口上や演奏の際の移動した距離を表す（図3-3で説明）。



A地点～B方向～A地点までを1廻りとする

図3-3 例『ちんどんデータマップ』の1廻りと表記説明



A地点～B方向～A地点～C方向
～A地点に戻るまでを1廻りとする

図3-4 例『ちんどんデータマップ』の1廻り

ちんどん屋と観客の会話は、話の中心となる会話を抜粋して描く。人々の言動を、記号（表 3-2 参照）を使って描く。ちんどん屋の言動は青色、観客の言動は赤色で示す。ちんどん屋の行動が観客に気づかれなかった場合を水色で表す。観客の行動がちんどん屋に気づかれなかった場合をピンク色で表す。緑色線は記録が不可能だった場合を表す。

表 3-2 『ちんどんデータマップ』で使用する記号

ちんどん屋の行動	記号	記号説明	観客の行動	記号	記号説明
動線		移動した経路と その方向	動線		移動した経路と その方向
話す	「～～」	会話内容の1部	話す	「～～」	会話内容の1部
手を振る		観客に手を振る	手を振る		ちんどん屋に 手を振る
笑顔		観客に笑顔を 向ける	笑顔		ちんどん屋に笑顔 を向ける
口上		宣伝文句を述べる	視線		ちんどん屋を 見に行く
演奏		音楽を演奏	写真・ビデオ撮影		ちんどん屋の写真 やビデオを撮影
演奏+口上		音楽を演奏し 口上を述べる	歌う		ちんどん屋の演奏 に合わせて歌う
休憩		休憩場所	踊る		ちんどん屋の演奏 に合わせて踊る
演奏曲	～	曲名			

『ちんどんデータマップ』の例とその説明を図 3-5 に示す。黄緑色の四角内が、出来事の説明である。全ての『ちんどんデータマップ』は APPENNDIX を参照されたい。

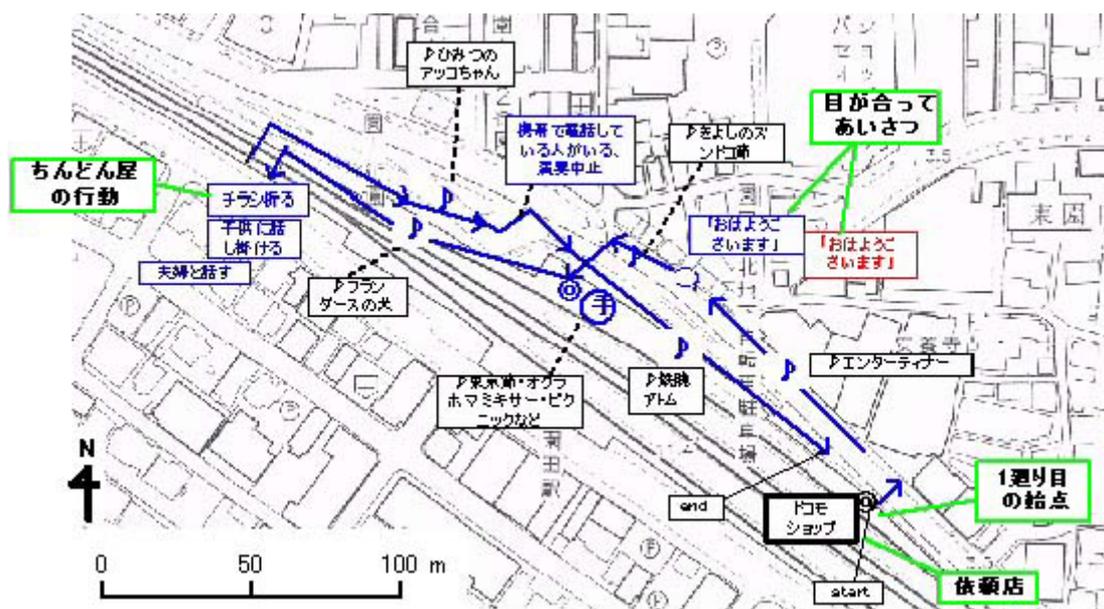


図 3-5 例 『ちんどんデータマップ』：園田街廻り 1 週り目 / 黄緑色は説明
(園田街廻りに関して 1/2500 地形図を元に著者加筆)

3-3-3 『ちんどんコミュニケーション記録シート』の記入

『ちんどんデータマップ』を描く際に、会話や手を振るなどのコミュニケーションを記録する。この際に用いる記録用シートを『ちんどんコミュニケーション記録シート』とする。例を表 3-3 に示す。このシートには、「モデル図番号」、「カウンター」、「時間」、「テープ番号」、「天気」、「注目する点」を記入する。

モデル図番号とは、起こったコミュニケーションにつける番号である。同じコミュニケーションがあった場合は、同じ番号をつける。テープ番号は表 3-1 の ~ である。

表 3-3 例『ちんどんコミュニケーション記録シート』（園田街廻りにおいて1部抜粋）

モデル図番号	カウンター	時間	テープ番号	天気	注目する点
18	0:04:40	5s		晴れ	あいさつ(おはようございます)
36	0:10:10	5s		晴れ	子供に手を振る
19	0:28:22	60s		晴れ	子供と話す(たわいもない会話)
20	0:44:58	40s		晴れ	夫婦と話す(クラリネットが懐かしい)
6	0:57:37	5s		晴れ	自転車整備員「ごろうさん」
21	0:57:56	50s		晴れ	風船に寄っていく(中学生ぐらい)
21	0:58:50	15s		晴れ	風船もらいに行く(おじいちゃん、孫)
21	0:59:54	20s		晴れ	もらった風船飛ぶ
22	1:13:45	5s		晴れ	肉屋の主人道に出てくる
23	1:18:56	10s		晴れ	車椅子のおばあちゃんにここに
22	1:20:50	10s		晴れ	家から出てくる、チラシもらう(不動産)
24	1:29:26	16s		晴れ	子供が走って来る

3-4 モデル図の作成方法

3-4-1 モデル化の方法について

『ちんどんデータマップ』より合計 305 例のコミュニケーションが得られた。305 例のコミュニケーションから 105 枚のモデル図を作成した。

コミュニケーションが行われる経緯とコミュニケーション内容が似ているものを同じモデル図とする。例えば、次のような 2 つの事例は、同じモデル図 (27 番) とする。

ちんどん屋が歩いていて、観客がマンションのベランダから覗いている。ちんどん屋はマンションの前で止まり、観客に向かって口上を述べる。

ちんどん屋が歩いていて、観客がビルの窓から覗いている。ちんどん屋はビルの前に立ち止まり観客に看板を見せ、またすぐに歩いて行く。

この 2 つ事例は、観客がちんどん屋の音や声を聴いて、建物内から外を見るという点と、それに対してちんどん屋が応えるという点が同じである。 と では、 の方が見られる頻度が多い。そのため、モデル図 27 番は の事例を元に描いている。

行われる頻度の少ないコミュニケーションは、1 つ 1 つのコミュニケーションが特徴的であるため、1 つの事例がそのままモデル図となる。例えば、観客がちんどん屋についてくるというコミュニケーションは、305 例のコミュニケーションのうち 11 例あり、モデル図は 10 枚作成した。酔っ払ってついてくる人や遊びながらついてくる子供、ついてきてご祝儀をくれる人などそれぞれ特徴的なコミュニケーションが見られる。

行われる頻度の多いコミュニケーションは、上述のモデル図 27 番のように、多く見られる事例を元にモデル図を描く。

3-4-2 モデル図の描き方

人々の行動の推移を見るために、1 つのコミュニケーションを 4 コマに分けて描く。1 コマ目は、コミュニケーション開始前の様子を、2 コマ目および 3 コマ目はコミュニケーションの様子を、4 コマ目はコミュニケーション終了後の様子を描く。Microsoft Office Visio を使って描く。

モデル図に使用する記号を表 3-4 に示す。表 3-4 の灰色部分は表 3-3 『ちんどんデータマップ』で使用する記号と同様である。

表 3-4 モデル図で使用する記号

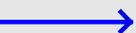
ちんどん屋	記号	記号説明	観客	記号	記号説明
ちんどん太鼓		太鼓と鉦を組み合わせた楽器	大人		大人の観客
ゴロス		大太鼓	子供		子供の観客
チラシ配り		チラシを配る人	自転車に乗った人		自転車に乗った観客
楽士		太鼓以外の楽器を演奏する人	酔っばらい		酔っ払った観客
話し掛ける		3角形の細い方から太い方に向かって話し掛ける	話し掛ける		3角形の細い方から太い方に向かって話し掛ける
動線		移動した経路とその方向	動線		移動した経路とその方向
話す		会話内容の一部	話す		会話内容の一部
手を振る		観客に手を振る	手を振る		ちんどん屋に手を振る
笑顔		観客に笑顔を向ける	笑顔		ちんどん屋に笑顔を向ける
口上		宣伝文句を述べる	視線		ちんどん屋を見に行く
演奏		音楽を演奏	写真・ビデオ撮影		ちんどん屋の写真やビデオを撮影
演奏+口上		音楽を演奏し口上を述べる	歌う		ちんどん屋の演奏に合わせて歌う
休憩		休憩場所	踊る		ちんどん屋の演奏に合わせて踊る
演奏曲	~	曲名			

表 3-4 の白色部分の記号について簡単に説明する。

ちんどん屋の記号について（詳しくは 1-3「ちんどん屋の仕事」を参照）

- ・「ちんどん太鼓」とは、太鼓と鉦を組み合わせた、ちんどん屋独特の楽器である。
- ・「ゴロス」とは大太鼓のことである。
- ・「チラシ配り」とは、チラシを配る人のことである。依頼店の人がチラシを配る時もある。
- ・「楽士」とは、クラリネットやサクソなど太鼓以外の楽器を演奏する人である。

ちんどん屋と観客共通の記号

- ・「話し掛ける」記号は、3 角形の細い方から、太い方に向かって話し掛けるという意味である。

図 3-6 にモデル図の例として 27 番のモデル図を示す。27 番は観客が住宅の上階から顔を覗かせ、ちんどん屋がそれに気づいて声をかけるというモデル図である。モデル図 27 番に対応する写真をモデル図の右に示す。写真の 2 コマ目は、マンションにいる観客とちんどん屋の 2 枚の写真で 1 コマを表している。

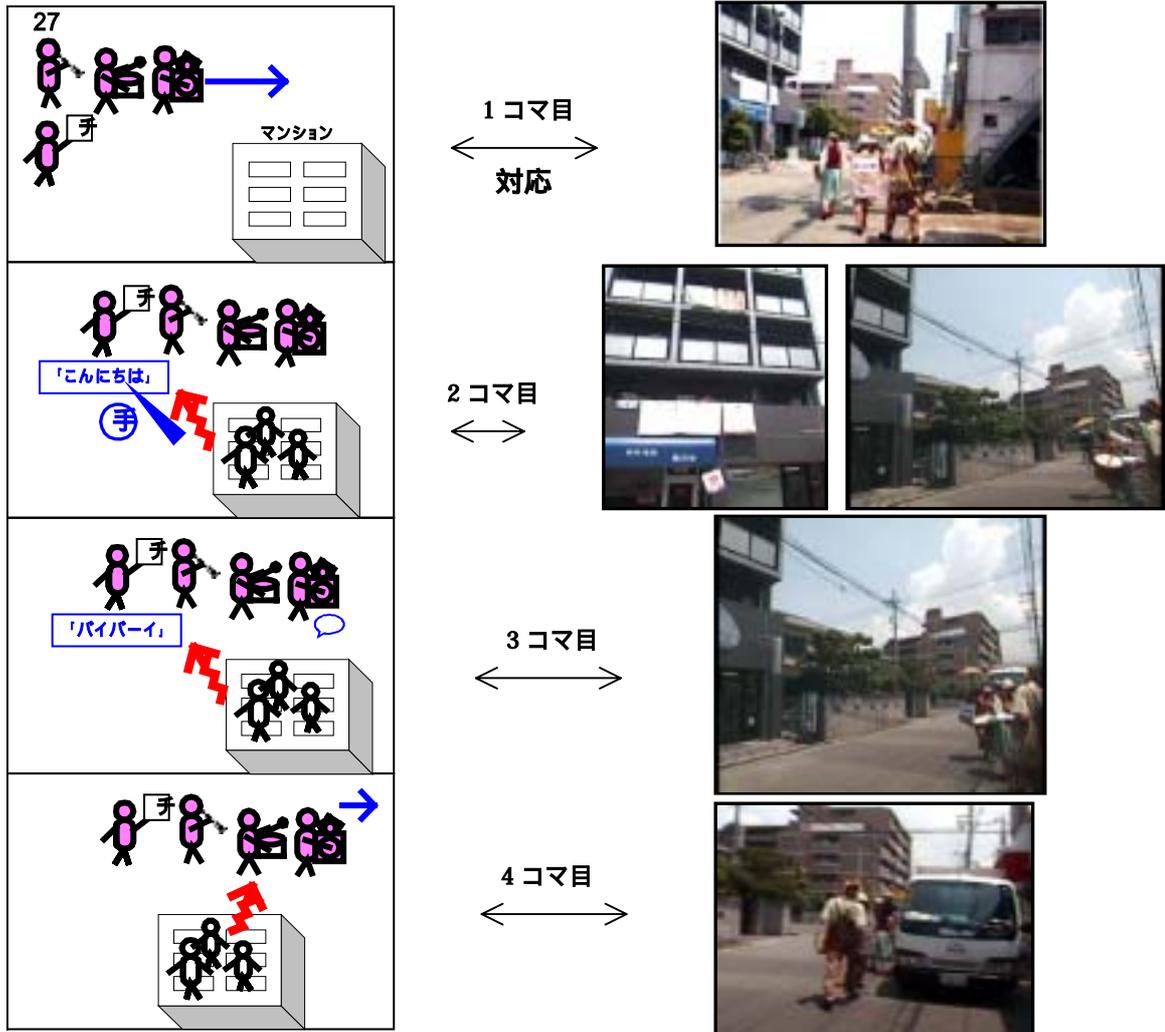


図 3-6 例：モデル図 27 番

写真 3-12 モデル図 27 番に対応する写真
(園田街廻りににおいて著者ビデオ撮影)

図 3-7 にモデル図の例として 67 番のモデル図を示す。67 番はちんどん屋が公園に向かっていき、子供に声をかける。そうすると、子供達が寄って来るといふモデル図である。

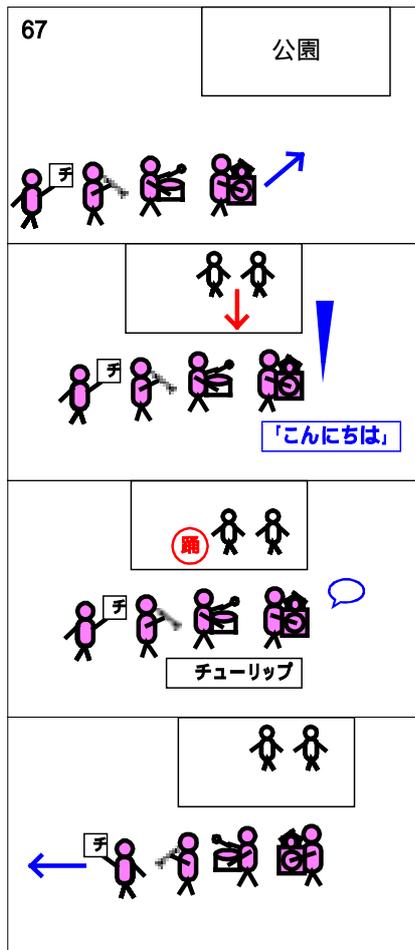


図 3-7 例：モデル図 67 番

↔
対応

↔

↔

↔



写真 3-13 モデル図 67 番に対応する写真

全てのモデル図は APPENNDIX を参照されたい。

3-5 モデル図の類型化

3-4 より得られた 105 枚のモデル図の類型化を行う。初めに行動別による類型を行い、行動類型モデルを得る（3-5-1）。次に行動類型モデルを KJ 法により類型化する（3-5-2）。

3-5-1 行動類型

街廻りにおいて、ちんどん屋と観客とのコミュニケーションは、両者の行動が組み合わさって起こる。そのため、ちんどん屋と観客の行動に着目しモデル図を分類する。

ちんどん屋と観客との行動を分解し、それぞれの行動をパターン化した図を「行動モデル図」とする。そして、それぞれの「行動モデル図」を組み合わせる。

ちんどん屋の行動は、「話す」、「寄る」とする。ちんどん屋の行動モデル図を図 3-8 に示す。

観客の行動は、「話す」、「寄る」、「見る」、「ついていく」とする。観客の行動モデル図を図 3-9 に示す。

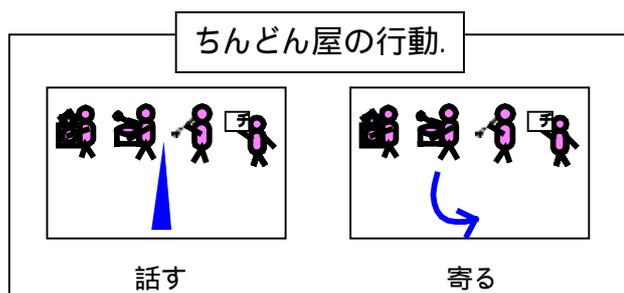


図 3-8 ちんどん屋の行動モデル図

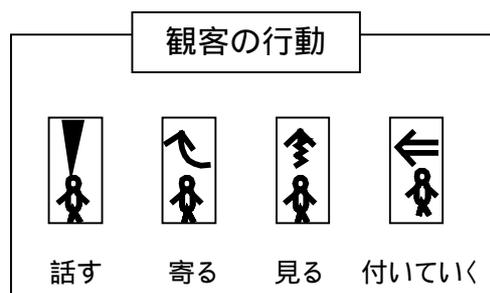


図 3-9 観客の行動モデル図

なお、 の記号は、「話す」以外に「写真を撮る」、「手を振る」などの行動も含む。

行動モデル図を組み合わせた関係を図 3-10 に示す。図 3-10 は、行動の組み合わせとして考えられる関係を表している。図中の黒太線は、実際に見られたコミュニケーションにおいて、両者の行動をつなぐ線である。左側にちんどん屋、右側に観客の行動を示す。

図中のように黒太線に番号をつける。この番号について、両者の行動を組み合わせたモデル図を描く。このモデル図を「行動類型モデル図」とする。

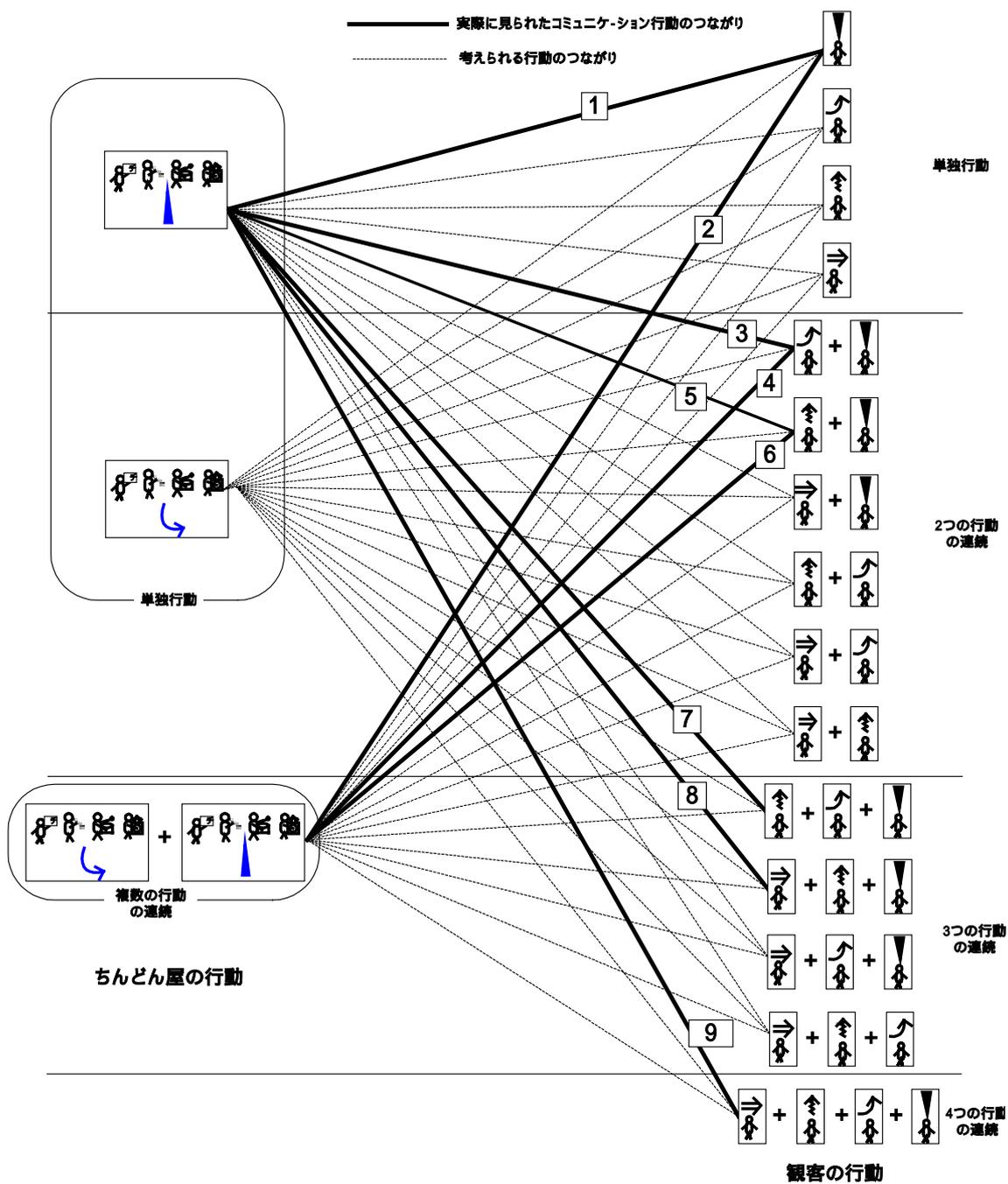


図 3-10 ちんどん屋と観客の行動モデル図の組み合わせ

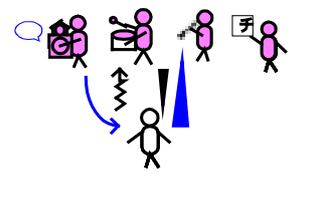
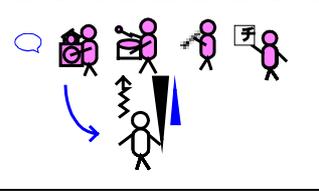
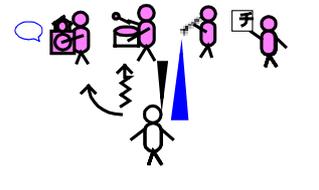
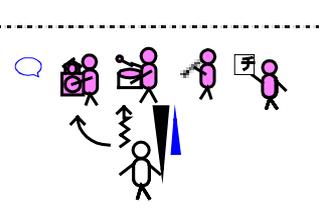
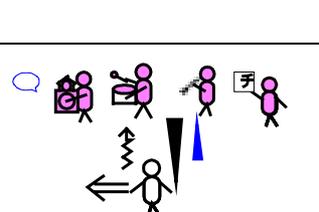
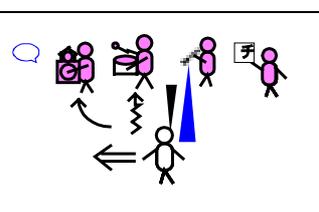
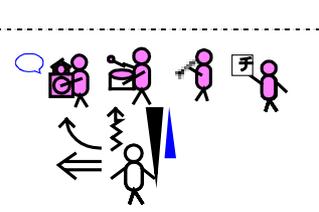
行動類型モデル図とその説明を表 3-5 に示す。

表 3-5 中の番号は、黒太線の番号である。番号(ち)は、ちんどん屋から話し掛ける時を、番号(観)は、観客から話し掛ける時を示す。

表 3-5 行動類型モデル図とその説明

	番号	行動類型モデル図	モデル図説明	ちんどん屋の行動	観客の行動
1	1(ち)		ちんどん屋が声をかける n = 17	・話し掛ける	・応える
	1(観)		観客がアプローチする n = 63	・応える	・話し掛ける ・写真を撮る ・拍手をするなど
2	2(ち)		ちんどん屋が寄っていき声をかける n = 4	・寄っていく ・話し掛ける	・応える
3	3(ち)		ちんどん屋が行くと、観客が寄ってくる n = 6	・話し掛ける	・寄っていく ・応える
	3(観)		観客が寄っていきアプローチする n = 4	・応える	・寄っていく ・話し掛ける ・写真を撮るなど
4	4(ち)		お互いに寄っていき会話する n = 2	・寄っていく ・話し掛ける	・寄っていく ・応える
5	5(ち)		ちんどん屋が観客の視線に応える n = 144	・観客の視線に気づく ・話し掛ける ・手を振るなど	・見に行く
	5(観)		観客が視線を送りアプローチする n = 30	・応える	・見に行く ・話し掛ける

表 3-5 行動類型モデル図とその説明 (続き)

6	6(ち)		ちんどん屋が観客の視線に応じて寄っていき話し掛ける n = 2	・視線に気づく ・話し掛ける	・視線を送る ・応える
	6(観)		ちんどん屋が見ている観客に声をかけられ寄っていき n = 1	・寄っていく ・応える	・見に行く ・声をかける
7	7(ち)		ちんどん屋が観客の視線に応じて、観客が寄ってくる n = 4	・視線に気づく ・話し掛ける	・寄っていく ・応える
	7(観)		観客が視線を送り、寄っていき、アプローチする n = 17	・応える	・見に行く ・寄っていく ・話し掛ける ・写真をとるなど
8	8(観)		観客がちんどん屋に付いていき、話し掛ける n = 4	・応える	・付いていく ・話し掛ける
9	9(ち)		ちんどん屋が寄ってくる観客に話し掛け、観客がついてくる n = 3	・話し掛ける	・視線を送る ・寄っていく ・応える ・付いていく
	9(観)		観客が寄っていき話し掛け、ついていく n = 4	・応える	・視線を異来する ・寄っていく ・話し掛ける ・付いていく

3-5-2 『ちんどんコミュニケーション類型』

3-5-1 で得た行動類型モデルを KJ 法により分類した。大きく 5 類型に再編することができた。KJ 法の結果を図 3-11 に示す。

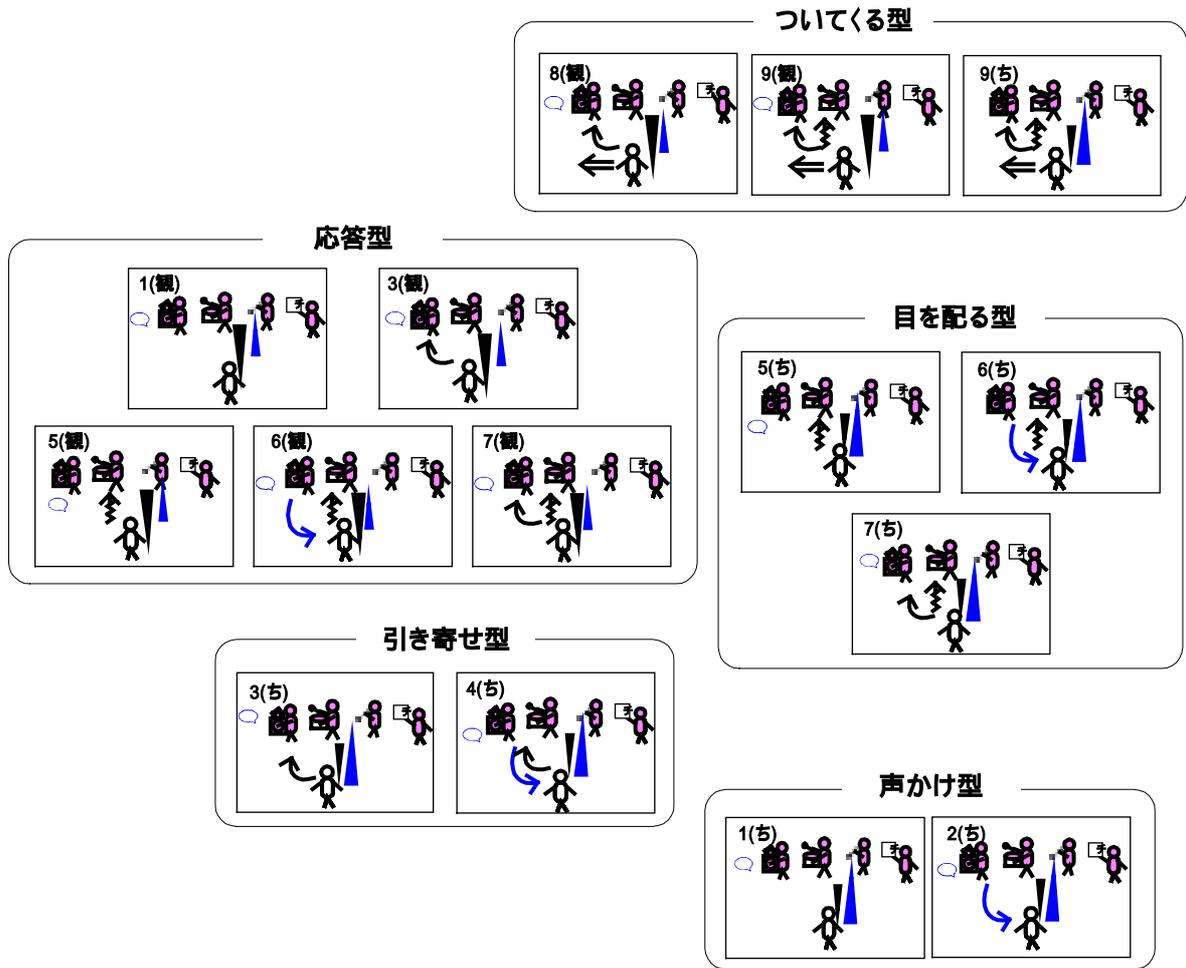


図 3-11 KJ 法結果一覧

各類型は、ちんどん屋の観客に対する働きかけの程度によって分けられている。これら5つの類型を『ちんどんコミュニケーション類型』とする。『ちんどんコミュニケーション類型』について説明する。

「ついてくる型」

「ついてくる型」は、観客がちんどん屋に「ついてくる」ということである。例として、2003年6月19日と20日の難波街廻りにおいて、ちんどん屋についてきた観客をあげる。

19日と20日は、同じ依頼店からの、同じ場所での宣伝であった。自転車に乗ったおじさんが、2日間、ちんどん屋についてきた。時々どこかに行き、姿が見られなくなるが、しばらくするとまた、ちんどん屋についてきている。おじさんがちんどん屋に話し掛けることがあった。おじさんの話から、おじさんは音楽が好きで、ちんどん屋の音楽を聴くためについて行ったようだ。この様子を表すモデル図を図3-12に示す。

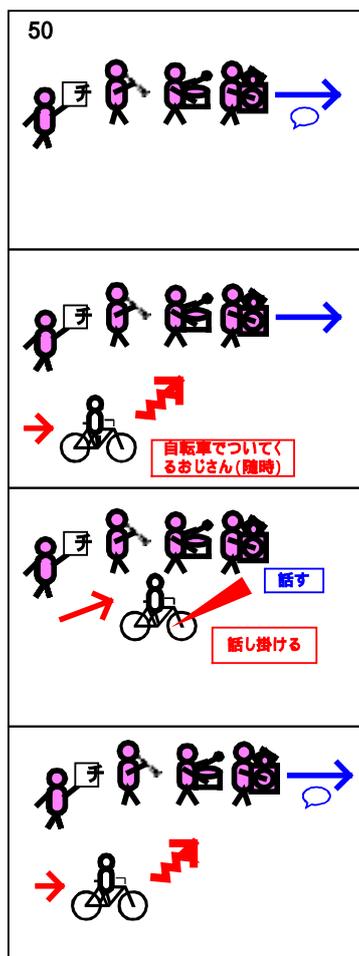


図3-12 ちんどん屋についてくるおじさんのモデル図

「応答型」

「応答型」は、ちんどん屋が観客の言動に「応答」するということである。例として、2003年5月3日新世界街廻りでのコミュニケーションをあげる。

自転車に乗ったおじさんが、ちんどん屋と道で出会って、「ちんどん屋やなあ」と叫んだ。それに対しちんどん屋は手を上げて「はい、どうも」と返した。観客が再び「ちんどん屋やなあ」と叫び、再びちんどん屋が「はい、どうも」と返し、これを4回ほど繰り返した。この様子を表すモデル図を図3-13に示す。

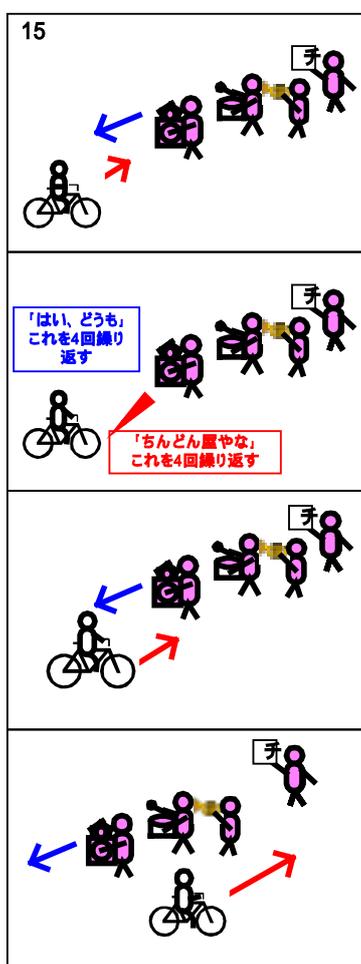


図3-13 観客の呼びかけに応える
ちんどん屋のモデル図

「目を配る型」

「目を配る型」は、ちんどん屋が観客の視線に「目を配る」ということである。例として、ちんどん屋を見るために観客が建物の中から外に出てくるというコミュニケーションをあげる。

観客がなんだろうと思い、外に出てちんどん屋を見ているとちんどん屋がチラシを持って来る。この様子を表すモデル図を図 3-14 に示す。

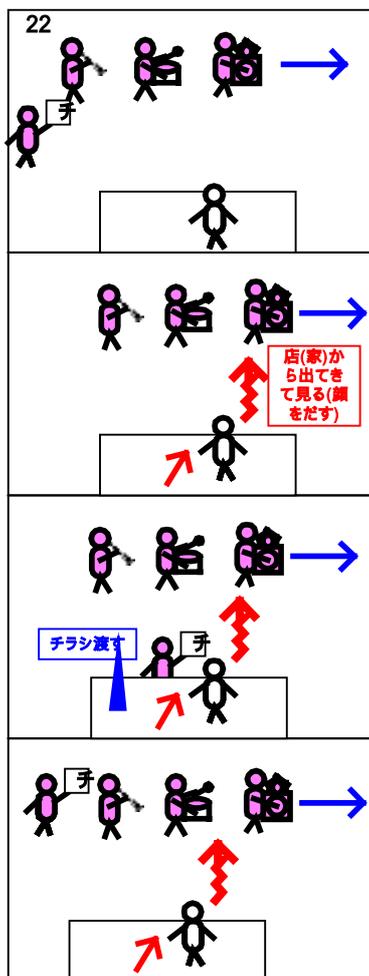


図 3-14 観客の視線に応える

ちんどん屋のモデル図

「引き寄せ型」

「引き寄せ型」は、ちんどん屋が観客に呼びかけ、観客を「引き寄せる」ということである。例として、2003年6月11日上本町街廻りでのコミュニケーションをあげる。

ちんどん屋が公園に行き、公園にいる子供に声を掛けると、子供が寄ってくる。子供に宣伝内容を告げた後、「チューリップ」を演奏すると、子供が喜んで踊る。この様子を表すモデル図を図3-15に示す。

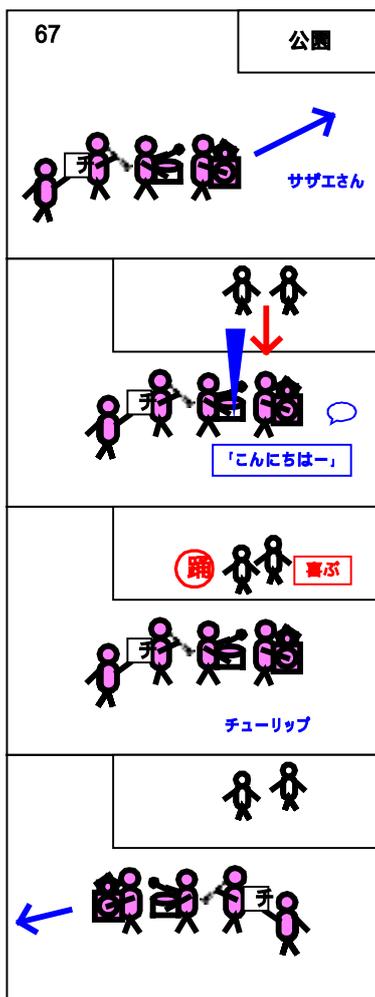


図 3-15 ちんどん屋が公園にいる子供を引き寄せるモデル図

「声かけ型」

「声かけ型」は、ちんどん屋が観客に「声をかける」ということである。例として、2003年6月11日上本町街廻りでのコミュニケーションをあげる。

ちんどん屋が横断歩道を渡り、信号待ちをしていた親子に声を掛ける。この様子を表すモデル図を図3-16に示す。

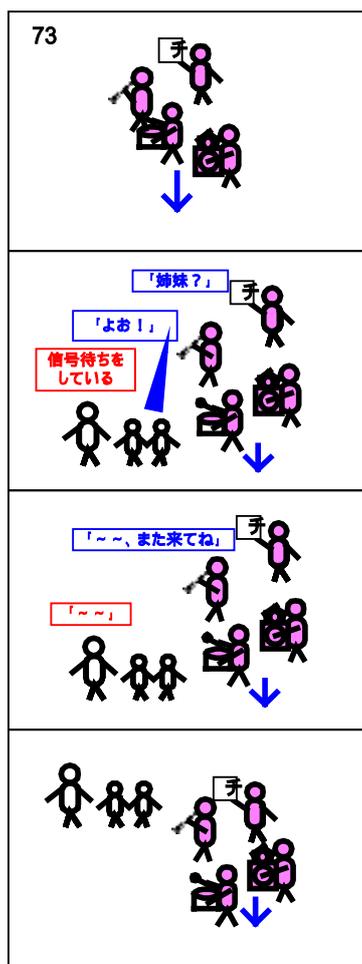


図3-16 信号待ちをしている子供に声をかけるちんどん屋のモデル図

ちんどん屋の行動に着目すると、「ついてくる型」、「応答型」、「目を配る型」、「引き寄せ型」、「声かけ型」の順にちんどん屋の働きかけが強くなると考えられる。

『ちんどんコミュニケーション類型』を図で表したものとその説明を表3-6に示す。全てのコミュニケーションの数は305例（ $n = 305$ ）、モデル図の数は105枚である。

表 3-6 KJ法による『ちんどんコミュニケーション類型』

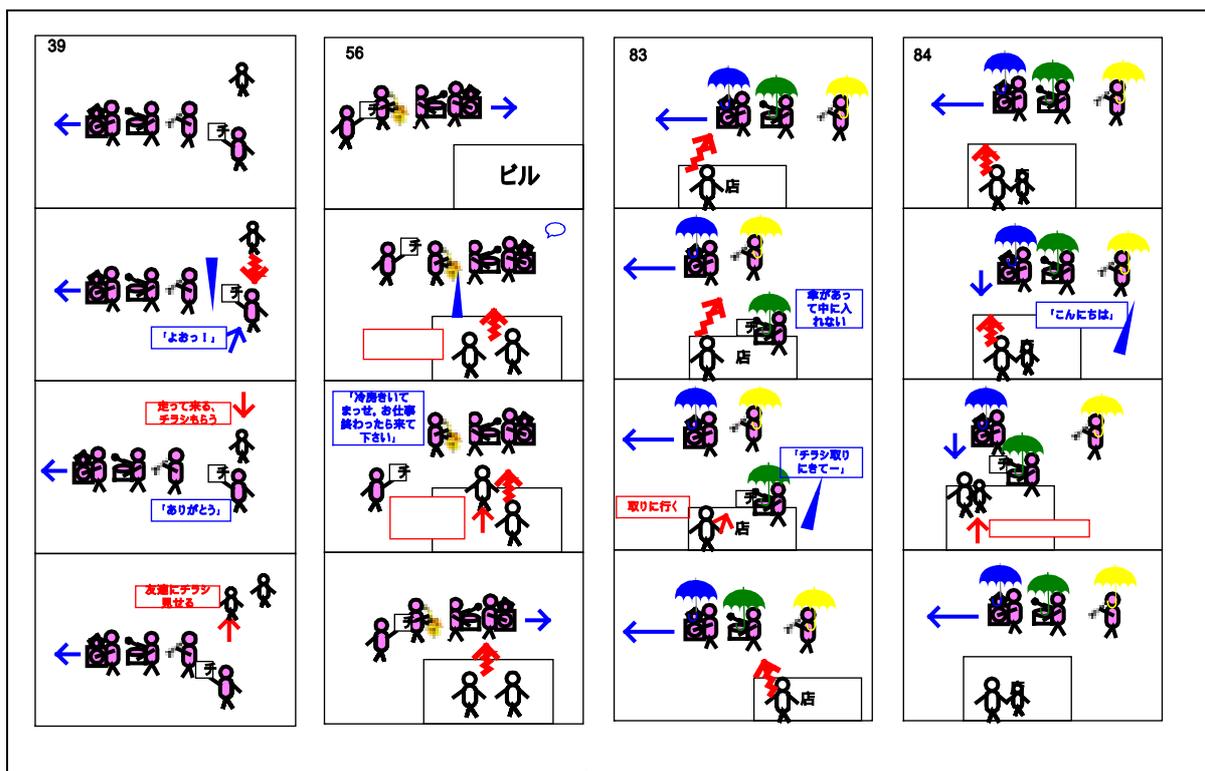
型	モデル図	行動類型説明	行動説明：ちんどん屋	行動説明：観客
ついでくる型 n = 11		観客がちんどん屋と偶然に会い、話し掛け、ついでいく 観客がちんどん屋を見に行き、ついでいき、話し掛ける 観客がちんどん屋を見に行き、ついでいくとちんどん屋が話し掛けてくる。	・応える ・話し掛ける ・子供を気遣う	・ついでいく ・話し掛ける
応答型 n = 115		両者が街で出会い観客から話し掛ける 両者が街で出会い、観客から寄っていき話し掛ける 観客がちんどん屋を見に行き話し掛ける 観客がちんどん屋を見に行き、話し掛けるとちんどん屋が寄ってくる 観客がちんどん屋を見に行き、話し掛けるとちんどん屋が応え、観客が寄って行く	・立ち止まる(止まっている時もある) ・話を聴き、応える ・声をかけられて寄っていく *周囲がうるさい時、人がたくさんいる時などは応答しにくい	・寄っていく ・見に行く ・話し掛ける
目を配る型 n = 150		観客が見に行くとちんどん屋が視線に応える 観客が見に行くとちんどん屋が視線に応え、ちんどん屋が寄ってくる 観客が見に行くとちんどん屋が視線に応え、観客が寄って行く	・視線に気づく ・話し掛ける、手を振る チラシを持っていくなど ・寄っていく *人がたくさんいる時や観客が建物内から見ていいる時は気づきにくい	・見に行く ・応える ・話し掛けられ寄っていく
引き寄せ n = 8		ちんどん屋が呼びかけると観客が寄ってくる ちんどん屋と観客がお互い寄って行く	・声をかける	・声をかけられ寄っていく
声かけ型 n = 21		ちんどん屋が観客に声をかける ちんどん屋が観客に声をかけ、寄って行く	・声をかける ・街の人を気遣う ・質問する ちんどん屋の働きかけ	・応える 観客の働きかけ

モデル図集約化の流れは、

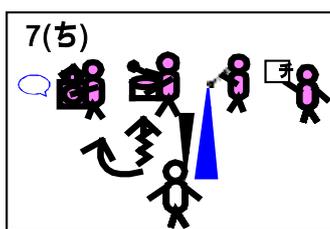
モデル図 行動類型モデル図 『ちんどんコミュニケーションモデル図』となっている。

例として、

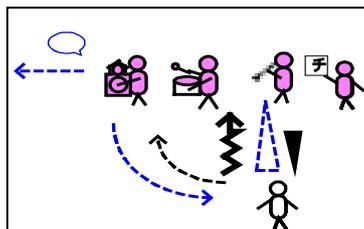
モデル図 (39番、56番、83番、84番) 行動類型モデル図7(ち) 「目を配る型」
をあげる。



モデル図



行動類型モデル図



「目を配る型」

図 3-17 例：モデル図集約化の流れの例

3-6 『ちんどんモデルマップ』の作成と分析

3-6-1 『ちんどんモデルマップ』とは

3-3『ちんどんデータマップ』におけるコミュニケーションは、『ちんどんコミュニケーション類型』に置き換えることができる。『ちんどんデータマップ』におけるコミュニケーションを置き換え、それ以外の出来事を除いた地図を『ちんどんモデルマップ』とする。

3-6-2 『ちんどんモデルマップ』の描き方

『ちんどんコミュニケーション類型』を円で表す。円の大きさは滞在時間(秒)を表す。「ついてくる型」は、ついてくる時間がすべて 50 秒以上であるため円では表さない。「ついてくる型」は赤色の楕円を用いて、観客がついてくる範囲を表す。「応答型」はピンク色、「目を配る型」は緑色、「引き寄せ型」は水色、「声かけ型」は黄色の円で表している。『ちんどんモデルマップ』の例を図 3-17 に示す。

図 3-17 は、2003 年 6 月 7 日園田街廻りにおいて、1 廻り目を描いた『ちんどんモデルマップ』である。依頼店であるドコモショップから出発し、初めに「声かけ型」が見られる。次に「目を配る型」が見られ、「声かけ型」が 2 つ見られる。

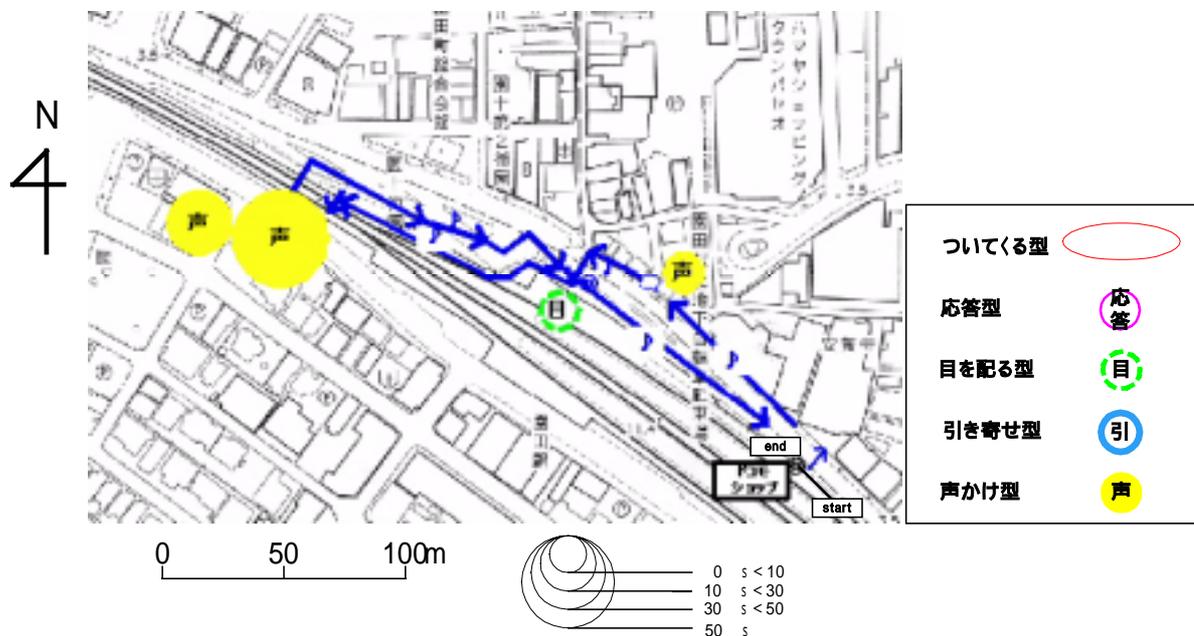


図 3-18 例『ちんどんモデルマップ』: 園田街廻り 1 廻り目
(園田街廻りにおいて 1/2500 地形図を元に著者加筆)

3-6-3 『ちんどんモデルマップ』の分析

『ちんどんモデルマップ』における『ちんどんコミュニケーション類型』を見やすくするために、『ちんどんコミュニケーション類型』と動線を抽出する。例を図 3-19 に示す。図 3-19 は園田街廻りの 1 廻り目から 4 廻り目までを表す。この図から各『ちんどんコミュニケーション類型』が多く見られる場所がわかる。図 3-19 の 1 廻り目は「声かけ型」が多く見られる。2 廻り目は、「目を配る型」が連続して見られる部分がある。3 廻り目及び 4 廻り目は、「応答型」と「声かけ型」が散らばって見られる。

次に、『ちんどんコミュニケーション類型』のつながりを見るため、それだけを取り出して、直線に並べる。例を図 3-20 に示す。直線の長さはコミュニケーションの長さを表す。

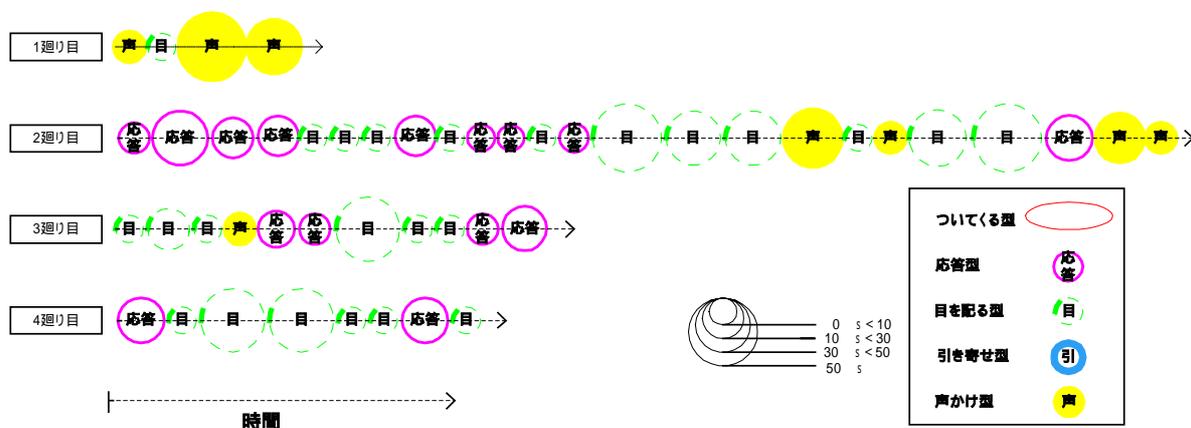


図 3-20 例『ちんどんコミュニケーション類型』の抽出・直線化：園田街廻り

3-6-4 街ごとの比較

著者が街廻りを調査した際に、「街によって街廻りの雰囲気異なる」と感じた。ちんどん屋がゆっくりと歩き、出会った観客とゆっくりと話するようなほのぼのとした街廻りや、ちんどん屋が人込みを掻き分けて歩き、多くの観客にチラシを配るようなせかせかとした街廻りなどが見られた。街廻りの雰囲気が異なる原因の 1 つとして、街の様子や街にいる観客、あるいは、ちんどん屋のメンバーなどが考えられる。しかし、街にいる人々（観客やちんどん屋）の違いは考慮しないことにする。

街ごとに街廻りを比較するために、『ちんどんコミュニケーション類型』の数を街ごとに集計する。それにより、街ごとにどのように『ちんどんコミュニケーション類型』が用いられているのか、また、ある『ちんどんコミュニケーション類型』を用いるのに適した場所を考察することができる。

参考文献

佐々木和之：河川空間を対象とした視覚 - 行動モデルの開発-犬上川南青柳橋～宇尾大橋を事例として-，滋賀県立大学修士論文，pp33-50(2003)